



ゆめーる・かほく【小学校版】

せせらぎ

鹿北小学校便り

第4号

令和8年7月

文責 内古閑 見至

元気に、みんな笑顔で過ごせた1学期

7月17日（金）、1学期終業式を行いました。1，3，5年の代表児童が、1学期を振り返って、できるようになったことや心に残ったことを発表しました。目標を立て、努力を重ね達成できた喜びや充実感は自信となり、次の挑戦へとつながっているようです。それぞれが、上手に堂々と発表する姿がとても印象的でした。「やればできる」を合言葉に、全員が夏休みも含め2学期から様々なことに積極的にチャレンジし、目標を達成することを期待しています。

今年の夏休みも39日間です。生活リズムを整え、病気やけが、事故などに注意して、日頃なかなかできないことにもチャレンジし、充実した楽しい夏休みにしてほしいと思います。2学期、全員が元気に登校する姿を楽しみにしています。

地域の皆様、ご家族の皆様、夏休み中も子どもたちへの声かけや見守りをどうぞよろしくお願いいたします。



学力充実タイム ～「丸つけ先生」募集中！～

今年も、子どもたちの国語、算数の基礎的・基本的な力を定着させるための「学力充実タイム」を、月に1～2回程度、金曜日の午後に実施しています。個別指導の充実を図る、誰一人取り残さない教育の一環でもあります。7月10日（金）は、山鹿市・植木町退職校長会の皆様にもご協力頂き、計9名の「丸つけ先生」にお世話になりました。子どもたちは、分からないところや難しい所を教えてもらいながら真剣に集中してプリント学習に取り組んでいました。



地域の方々にも「丸つけ先生」としてご協力頂いています。少しでも多くの方々にご協力いただくことで、子どもたちの学力がより確かなものになっていきます。支援に必要な赤ペンや模範解答などは全て学校で用意していますので、少しでも興味がある方は、ぜひご協力いただければと思います。連絡をお待ちしております。

連絡先 → TEL 32-3334 担当：教頭 鹿子木

長崎への6年生修学旅行 ～7月7日(火)、8日(水)～

1日目は平和学習に取り組みました。平和記念館では、被爆体験をされた語り部さんから講話を聞き、戦争の恐ろしさや平和の大切さについて学びました。また、「戦争は最大の差別です。戦争の恐ろしさと平和の大切さを、ぜひ家族や周りの人たちに伝えてください。命のバトンを受け取り、次の世代へつないでほしい」というメッセージをいただきました。

続いて原爆資料館を見学し、写真や資料、展示物を通して原爆被害の深刻さを学びました。フィールドワークでは爆心地や如己堂を訪れ、ガイドの方のお話を聞きながら理解を深めました。特に永井隆博士の生涯や平和を願う姿は、子どもたちの心に強く残ったようです。最後に平和公園で平和集会を行い、一人一人が平和への思いを込めて「平和の誓い」を捧げました。

2日目は班行動を行い、協力と責任を意識しながら活動しました。今年から行程に加わったハウステンボスでは、美しい街並みやアトラクションを満喫し、エヴァンゲリオン・ザ・ライドも人気を集めていました。仲間と協力しながら楽しい時間を過ごし、友だちとの絆を深めることができました。

今回の修学旅行では、平和の尊さや命の大切さを学ぶとともに、多くの方々への感謝の気持ちを育むことができました。学びや思い出にあふれた、充実した修学旅行となりました。



5年生集団宿泊教室 ～7月14日(火)、15日(水)～

5年生は、菊池少年自然の家を訪れ、集団宿泊教室を行いました。

樹齢約400年といわれる天狗杉を目指して歩く「観音岳ハイキング」、川でニジマスをつまえて塩焼きにして食べる「ニジマスつかみ」などの体験学習を通して、自然の素晴らしさや命の尊さ、最後まであきらめずにやり抜くことの大切さなど、多くのことを学びました。

また、集団生活では、家庭とは違う環境の中で集団のルールを守り、自分の役割を果たしながら、みんなが気持ちよく過ごすためにはどのように協力・行動すればよいかを考え、実践することができました。

菊池少年自然の家の指導員の皆さんからは、元気で気持ちのよいあいさつ、目を見てしっかりと話を聞く態度、仲良く協力する姿、最後までやり遂げようとする姿勢などたくさん褒めていただき、子どもたちの自信につながりました。

この宿泊教室を通して学んだことをこれからの学校生活に生かし、さらに成長してほしいと思います。

